

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	肺がん患者におけるニボルマブ投与中の肺障害及び放射線肺臓炎に関する研究
	研究目的	免疫チェックポイント阻害剤であるニボルマブを使用した肺がん患者を対象として、胸部を照射野に含んだ放射線治療歴の有無による、肺障害の出現頻度、および、その臨床病理学的な特性の違いを検討する。特に放射線照射後の症例に対しては免疫チェックポイント阻害薬を使用することで、Radiation Recall 現象が出現することが報告され始めており、一般的な肺障害の画像としての間質性陰影と比較して、その出現頻度、および、臨床病理学的な特性を検討する。 本研究で得られた結果から、免疫チェックポイント阻害剤投与中の肺障害のリスクを再評価できる。また、その発生機序に関する見地が得られることを期待する。
	研究対象者	2015年12月以降、2017年3月31日までにニボルマブを投与された患者を対象とする
	研究期間	西暦 2019年3月6日～西暦 2020年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	加藤 晃史
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器内科/山田耕三
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科 堀之内 秀仁 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 鋸持 広知 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 中島 和寿 がん研有明病院 呼吸器センター内科 堀池 篤 がん・感染症センター都立駒込病院 呼吸器内科 大熊 裕介